

平成 29 年度
空き家バンクに関する調査
調査研究報告書

平成 30 年 2 月

(21) 運営上の課題

Q 3 1. 空き家バンクの運営について生じている課題について、該当するものにいくつでも○印をつけて下さい。

空き家バンクの運営について生じている課題としては、都道府県では全ての自治体が「居住希望者のニーズにマッチした物件が少ない」を挙げ、次いで「物件の空き家バンクへの登録数が少ない」（75.0%）となった。一方、市区町村では、「物件の空き家バンクへの登録数が少ない」が最も多く（81.1%）、次いで「居住希望者のニーズにマッチした物件が少ない」（66.8%）となった。

選択肢	都道府県		市区町村	
	回答数	割合	回答数	割合
空き家の物件数が少ない	1	25.0%	117	15.3%
物件の空き家バンクへの登録数が少ない	3	75.0%	619	81.1%
問合せの数が少ない	2	50.0%	117	15.3%
居住希望者のニーズにマッチした物件が少ない	4	100%	510	66.8%
不動産業者との連携が不十分	0	0%	120	15.7%
その他	0	0%	74	9.7%
回答者数	4	100%	763	100%

